

目 次

目次欄（青字）をクリックすると、該当ページに移動します。

出席委員	1
臨時の委員長	3
予算審査特別委員長の選挙	3
予算審査特別委員会の副委員長の選挙	4
企画部の予算審査	5
総務部及び選挙管理委員会事務局の予算審査	23
総括質疑及び現地調査箇所の選定	41

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS 第1水準漢字」を使用しています。

このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場合があります。

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

令和7年 利府町議会予算審査特別委員会会議録（第1号）

令和7年3月5日（水曜日）

出席委員（15名）

委員長	永野 渉 君	
副委員長	伊藤 司 君	
委員	郷右近 佑 悟 君	阿部 彦 忠 君
	須田 聡 宏 君	高木 綾 子 君
	皆川 祐 治 君	鈴木 晴 子 君
	金 萬 文 雄 君	土村 秀 俊 君
	浅川 紀 明 君	今野 隆 之 君
	小 淵 洋 一 郎 君	高 久 時 男 君
	羽 川 喜 富 君	

欠席委員（なし）

説明のため出席した者

副 町 長	櫻 井 や え 子 君
企画部	
部 長	郷右近 啓 一 君
秘書政策課	
課 長	藤 岡 章 夫 君
課長補佐兼秘書政策係長	赤 間 崇 光 君
秘 書 広 報 係 長	平 塚 智 美 君
財務課	
課 長	石 垣 伴 彦 君
財 政 係 長	佐 藤 園 華 君
管 財 契 約 係 長	和 地 修 君
スポーツ推進課	

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

課	長	門 田 唯 志 君
施 設 運 営 係	長	太 田 博 昭 君
ス ポ ー ツ 振 興 係	長	菅 澤 誠 也 君
総務部		
部	長	嶋 正 美 君
総務課兼選挙管理委員会事務局		
課長兼選挙管理委員会事務局長		和 田 あずみ 君
人事係長兼総務係長		佐 藤 恵 君
課長補佐兼町史編さん係長兼選挙係長		大 場 雄 文 君
危機対策課		
課	長	戸 枝 潤 也 君
課長補佐兼危機管理係長兼生活安全係長		庄 司 正 博 君
デジタル推進室		
室	長	吉 田 雄 一 君
室長補佐兼デジタル推進係長		後 藤 俊 寿 君

事務局職員出席者

事 務 局	長	川 口 優 君
主 査		戸 石 美 佳 君
主 査		高 橋 三喜夫 君

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

午後1時00分 開 会

○議会事務局長（川口 優君） それでは、引き続き予算審査特別委員会を開催いたします。

初めての委員会ですので、利府町議会委員会条例第7条第2項の規定により、年長の小渕洋一郎委員に**臨時の委員長**をお願いいたします。小渕洋一郎委員、よろしく申し上げます。

〔臨時委員長 小渕洋一郎君 登壇〕

○臨時委員長（小渕洋一郎君） 小渕洋一郎でございます。規定によって臨時に委員長の職務を行います。どうぞよろしくお申し上げます。

ただいまから予算審査特別委員会を開会します。

本日の会議を開きます。

ただいまの委員は15名です。

これにより**予算審査特別委員長の選挙**を行います。

お諮りします。選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定によって指名推選にしたいと思えます。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（小渕洋一郎君） 異議なしと認めます。したがって、選挙の方法は指名推選で行います。

お諮りします。指名の方法については、臨時委員長が指名することとしたいと思えます。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（小渕洋一郎君） 異議なしと認めます。したがって、臨時委員長が指名することに決定しました。

委員長に永野 渉君を指名します。

お諮りします。ただいま指名しました永野 渉君を委員長の当選人と定めることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（小渕洋一郎君） 異議なしと認めます。したがって、ただいま指名しました永野 渉君が委員長に当選されました。

ただいま委員長に当選された永野 渉君が議場におられます。会議規則第31条第2項の規定によって当選の告知をいたします。

委員長と交代いたします。

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

〔委員長 永野 渉君 登壇〕

○委員長（永野 渉君） ただいま予算審査特別委員長に選出されました永野 渉です。

委員各位の特段の御理解と御協力を賜り、委員会の円滑な運営に努めてまいりたいと思いますので、よろしく申し上げます。

それでは、これより**予算審査特別委員会の副委員長の選挙**を行います。

お諮りします。選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定によって指名推選にしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（永野 渉君） 異議なしと認めます。したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定しました。

お諮りします。指名の方法については、委員長が指名することにしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（永野 渉君） 異議なしと認めます。したがって、委員長が指名することに決定いたしました。

副委員長に伊藤 司君を指名します。

お諮りします。ただいま指名いたしました伊藤 司君を副委員長の当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（永野 渉君） 異議なしと認めます。したがって、ただいま指名しました伊藤 司君が副委員長に当選されました。

ただいま副委員長に当選された伊藤 司君が議場におられます。会議規則第31条第2項の規定によって当選の告知をします。

次に、審査日程についてお諮りします。

審査日程については、お配りしました審査日程表により進めたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（永野 渉君） 異議なしと認めます。したがって、審査日程については、お配りしました審査日程表のとおり進めてまいります。

審査に入る前に申し上げます。質疑に当たっては1人2問から3問程度とし、それ以上の質

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

疑がある場合には質疑が一巡した後をお願いします。また、質疑の際は分かりやすく簡潔にお願いいたします。さらに、質疑が重複しないようできるだけ関連質疑で対応するようお願いいたします。

なお、執行部に関しても同様でありますので、分かりやすく簡潔に答弁願います。

それでは、審査日程表により企画部の予算審査を始めます。

大事な利府町の令和7年度の予算でありますので、慎重審議をお願いするとともに、私も粛々と進行してまいりたいと思います。よろしく申し上げます。

それでは、所管事項の内容の説明願います。企画部長。

○企画部長（郷右近啓一君） 皆様、お疲れさまです。

それでは、企画部所管の令和7年度一般会計予算の内容につきまして、利府町各種会計予算説明書①一般会計に基づき御説明申し上げます。

初めに、歳入について御説明いたします。

5ページを御覧ください。

3款利子割交付金から7款地方消費税交付金までは、株式などの配当や譲渡の際に課税された県税、また県が一括して徴収した県税が市町村に交付されるもので、宮城県から示された交付見込額を計上したものであり、それぞれ前年度と比較し増額となっております。

6ページを御覧願います。

12款1項1目地方特例交付金につきましては、国の経済対策として令和6年度に実施した個人住民税の定額減税における減収分が地方特例交付金で全額補填されておりましたが、定額減税の終了に伴い、前年度と比較し1億7,294万7,000円減の5,000万円を計上しております。

次に、13款1項1目地方交付税でございますが、1節普通交付税につきましては、国の令和7年度地方財政計画などから試算を行い、前年度と比較し8,000万円増の13億3,000万円を計上しております。

2節特別交付税につきましては、地域おこし協力隊関連経費などの交付税措置が見込まれますが、協力隊の任用人数や令和6年度の交付実績を勘案し、災害復興特別交付税と併せて前年度から3,000万円減の3億4,000万円を計上しております。

19ページを御覧願います。

18款3項1目6節統計調査費委託金につきましては、各種統計調査に係る県からの委託金を計上しておりますが、令和7年度におきましては5年ごとに実施される国勢調査の年となりますので、前年度比1,254万4,000円増の1,484万2,000円を計上しております。

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

20ページを御覧願います。

19款1項3目土地開発基金運用収入172万4,000円につきましては、利府駅前用地の一部を株式会社まちづくり利府に、都市計画道路大町線の用地の一部を利府町社会福祉協議会とペアくるの指定管理者である社会福祉法人遊創の森にそれぞれ貸付けを行っている収入を見込んでおります。

次に、19節2項1目1節土地売払収入1,400万円につきましては、葉山二丁目地内の普通財産の売払収入を見込んでおります。

21ページを御覧願います。

21款2項1目1節財政調整基金繰入金7億6,322万6,000円につきましては、財源調整のため基金からの繰入金を計上しております。

同じく2目減債基金繰入金6,000万円につきましては、過去に借り入れた臨時財政対策債や児童クラブ整備事業の償還に充てるため、繰入金を計上しております。

同じく3目土地開発基金繰入金173万6,000円につきましては、株式会社まちづくり利府、利府町社会福祉協議会及び社会福祉法人遊創の森への土地貸付収入及び利息の繰入金を計上しております。

5目スポーツ振興基金繰入金200万円につきましては、スポーツ活動派遣事業費補助金に充てるため、繰入金を計上しております。

24ページを御覧願います。

23款4項3目7節雑入のうち、市町村振興宝くじ交付金996万9,000円につきましては、小中学校の入学支援事業として実施しております体操着支給事業に充当するものであります。同じく5行目、報告事業収入229万1,000円のうち、秘書政策課分としてホームページのバナー広告や広報りふの広告料収入を見込み、148万8,000円を計上しております。

次に、歳出について御説明申し上げます。

29ページを御覧願います。

2款1項2目秘書広報費1億1,961万1,000円につきましては、前年度と比較し577万2,000円の増となっております。増額の主な理由でございますが、30ページを御覧願います。13節使用料及び賃借料におきまして、これまでは総務部デジタル推進室で計上しておりましたホームページ作成支援システム賃借料が、システムの更新に伴い、ホームページの作成管理を行っている秘書政策課に移管されたことから、増額になったものであります。

31ページを御覧願います。

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

2款1項3目財政管理費7,217万1,000円につきましては、前年度と比較し74万円の増となっております。増額の主な理由といたしましては、各種基金の利子積立金の増額によるものであります。

32ページ、33ページを御覧願います。

2款1項5目財産管理費2億1,896万2,000円につきましては、役場庁舎や町民交流館、公用車、公有財産の維持管理に要する経費を計上しており、前年度と比較し2億7,471万1,000円の減となっております。減額の主な理由といたしましては、34ページを御覧願います。14節工事請負費におきまして、令和6年度に実施した庁舎の屋上防水改修工事や電気設備改修工事の完了に伴う減額となっております。

49ページを御覧願います。

2款5項1目統計調査総務費1,487万8,000円につきましては、前年度と比較し1,255万7,000円の増となっております。増額の主な理由といたしましては、歳入でも御説明申し上げましたが、5年ごとに実施する国勢調査に要する経費によるものであります。

50ページを御覧願います。

2款6項1目企画総務費1億6,566万1,000円につきましては、前年度と比較し1,593万6,000円の減額となっております。減額の主な理由といたしましては、12節委託料におきまして、旧十符の里プラザ跡地利活用に係る業務の完了などによるものと、18節負担金、補助及び交付金におきまして、令和6年度まで秘書政策課で所管しておりました夢チャレンジ応援事業を住民活動支援の観点から生活環境課に移管したことによるものであります。

なお、12節委託料では、地域おこし協力隊支援業務委託料として、協力隊員12名を継続任用し町の特産品を使った新商品の開発やイベントの開催など協力隊活動に要する経費を、また、旧十符の里プラザ跡地利活用ワークショップ運營業務委託料として、令和6年度に引き続きワークショップを開催し、地域の歴史的背景を踏まえた跡地の利活用に係る意見交換に要する経費を、さらに、ガーナ共和国交流事業支援業務委託料として、国の万博交流プログラムに基づく補助金を活用した交流事業に要する経費を計上しております。

次に、18節負担金、補助及び交付金の婚活サポート支援交付金につきましては、本町独自の新たな取組として、県が開設した結婚支援センターへの入会に係る費用の一部助成に要する経費を計上しております。

52ページを御覧願います。

2款6項3目スポーツ振興費2億2,633万8,000円につきましては、前年度と比較し9,958万円

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

の減となっております。減額の主な理由といたしましては、総合体育館屋根改修工事が完了したことによるものでありますが、令和7年度はスポーツのまち利府を象徴するようなスポーツイベントを中心に、様々なスポーツ施策の実施に努めてまいります。

118ページを御覧願います。

12款1項公債費1目元金12億903万8,000円のうち、財務課所管分の11億9,888万9,000円につきましては、前年度と比較し1,188万9,000円の増となっております。増額の主な理由といたしましては、令和3年度に借入れを行った臨時財政対策債や、令和4年度に借入れを行った福島県沖地震の災害復旧事業の元金償還が開始となったことによるものであります。

同じく2目利子5,050万円につきましては、前年度と比較し700万円の減となっております。減額の主な理由といたしましては、地方債残高の減少によるものであります。

以上が企画部所管の令和7年度当初予算の概要となります。御審議のほどよろしくお願いたします。

○委員長（永野 渉君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。14番 羽川委員。

○羽川喜富委員 じゃあ、50ページを開いていただいて、企画総務費の報償費の内容の中に、地域力創造アドバイザーの謝礼1名分560万円と入っているんですが、この金額、これだけの内容ですので、どのような関連の方でこのような状況の金額が出たのを教えていただきたいと思えます。

じゃあ、1点お願いします。

○委員長（永野 渉君） 以上1点、説明願います。赤間政策係長。

○課長補佐兼秘書政策係長（赤間崇光君） それでは、羽川委員のご質問にお答えいたします。

50ページの地域創造力アドバイザーにつきましては、国のまず制度を活用してございます。こちらは総務省に登録してあります地域活性化の取組に資するノウハウを持っている外部専門家ということで総務省に登録されている方を選抜というか選出して委託しております。

その内容につきましては、今現在、地域おこし協力隊、様々な活動をしておりますが、外部のノウハウ、そして専門的な部分のアドバイザーということで委託を報償でしている金額となります。

この560万円につきましては、国が示している金額となりまして、基本的には月10日以上、利府町で活動していただくと。その分に対しての報償費ということで最大560万円まで計上しているということになりますので、実際は12日とか15日とか来れば最大で560万円ということで見込

んでおります。

以上です。

○委員長（永野 渉君） よろしいですか。じゃあ、そのほかありませんか。1番 郷右近委員。

○郷右近佑悟委員 私からは2点です。

51ページの2款6項1目12節委託料の中のガーナ共和国交流事業支援業務委託料ということなんですけれども、今回、万博に絡めてということなんです、具体的にどういう内容で今考えていらっしゃるのかということと、まず、あと次が53ページの2款6項3目12節の委託料のeスポーツ体験ブース設置委託料、あと続きでバドミントン教室・卓球教室実施業務委託料というところで、具体的にどういう機会にどういう形の事業を委託されているのかというのを教えてください。お願いします。

○委員長（永野 渉君） じゃあ、以上2点、1点目、赤間係長。

○課長補佐兼秘書政策係長（赤間崇光君） それでは、お答えいたします。

ガーナ共和国の交流支援事業業務委託料ということでございますが、まず、今年度2月15日から22日までガーナのほうに視察に行っております。こちらは国の補助金を活用して発展途上国と交流するというので、国から3か年補助が出ている事業でございます。こちらは町のほうで委託料ということで出すお金にまずなりますが、こちらはやはりガーナ共和国とやり取りする上で大使館関係とかあと万博関係者、そういった関係者との連絡、それから調整等に要するコーディネーターの委託料ということで計上させていただいております。

令和7年度のこちらの事業につきましては、まだ申請自体、今からということになりますが、3か年計画の中では、7年度に万博開催時に子供たち小中学生を連れて万博に行きまして、ガーナのほうと文化的、それから英語とか教育的な国際理解教育の向上ということで交流を図る予定としております。

なお、まだちょっと来年度の7年度の決定がまだ来ておりませんので、今後、必要な経費等については確定次第、6月補正等で必要な部分は確保していきたいと考えております。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 続きまして、施設運営係長。

○施設運営係長（太田博昭君） では、第2点目の委託料3つについてお答え申し上げます。

こちら3つの委託料ですが、本年10月12日の日に、十符の里パークを会場としまして十符の里スポーツパークというイベントを開催する予定でございます。こちらのほうにつきましては、この3つの委託料のほかにプロ球団、野球、サッカー、バスケといったイベント、さらにはニ

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

ュースポーツ、そして体力テストというような複合イベントを考えている次第でございます。

中身につきましては、e スポーツは先般行いました利府推しフェスでやったようなイベント、バドミントンにつきましては本町御出身のオリンピックの小林優吾選手をお招きしてやる予定です。卓球につきましては、福原 愛選手のほうの招待を考えています。

以上です。

○委員長（永野 渉君） よろしいですか。1番 郷右近君。

○郷右近佑悟委員 ありがとうございます。

では、ガーナのほうなんですけれども、私も先月一緒にガーナに行かせていただいて、実際にオンラインで利府の中学生と現地の学生が交流するということで、皆さん、積極的にお互いの国を研究したりですとか英語で発言をして非常にいいものだなというところを感じた次第ではあったんですけれども、今後、国の施策を使って町で、3か年計画ですけれども、進めていくという中で、やはり今回、視察で行ったときはお試しに近いようなものだったので、一部の中学生と現地の子がお話ししてということになると思うんですけれども、やはり町全体に国際的な交流ですとかそういう英語教育の重要なところなどを伝えていくというので、何か明確なビジョンとかを持っていろいろ考えていかなきゃいけないなあというところではあるんですけれども、その辺の一部の方だけじゃなくて町全体に向けてのビジョンとかもし現状あれば教えていただきたいというところがある。

次のスポーツのe スポーツ、バドミントン、卓球の委託のほうなんですけれども、この競技が選ばれたというのは、町民のアンケートではないですけれども、こういう競技をやりたいという声が多かったとかそういうところではなく、まずは町出身の有名な著名な選手を起点にこのスポーツを広げていきたいというようなところからだったのかなと今聞いて思ったんですけれども、この競技を選ばれた理由についてもちょっと教えてください。

○委員長（永野 渉君） じゃあ、2点。課長補佐兼政策係長。

○課長補佐兼秘書政策係長（赤間崇光君） それでは、1点目のガーナとの交流の今後についてということでございますが、郷右近委員さんおっしゃるとおり、今回は一部といいますか学校から選抜された方12名の生徒でオンライン交流を実施させていただきました。

今後、来年度以降、おっしゃるとおり一部の方だけということではありませぬので、まず、教育委員会のほうとも今現在調整しております、まず給食等でガーナ、アフリカの料理等を出して、まず理解を深めていただくと。あとは子供たちだけではなくて、本町に国際交流協会という外部団体がありますので、そちらと協力して他言語の文化交流とかそういったものの活

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

動を実施していきたいと思っております。

あとは、また学校全体にということになってきますので、その辺は本町のほうでも教育委員会等々と調整しながら、広く国際理解教育が向上できるように今後努めていきたいと思えます。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 次に、施設運営係長。

○施設運営係長（太田博昭君） 2点目の部分についてお答えします。

まさに今委員さんおっしゃった部分のほかに、町のほうで学識経験者の方、あるいは将来のスポーツの関係者の代表の方を集めましたスポーツ推進審議会というものがございます。そちらのほうの意見も集約しております。

以上です。

○委員長（永野 渉君） よろしいですか。そのほかありませんか。11番 小淵洋一郎委員。

○小淵洋一郎委員 3点伺います。

まず1点目、51ページ、2款6項1目18節負担金、補助金及び交付金の中にあります地域活性化起業人制度3,360万円、これはどういう目的で使われるものか、そして具体的内容をお願いします。

2点目、53ページ、2款6項3目12節委託料1億4,799万2,000円のうち、負担金でありますプロ野球2軍戦運営補助業務委託料の目的と具体的内容。

3点目、54ページ、2款6項1目18節負担金、補助及び交付金、J A F観光連携推進事業510万円とありますが、これも内容と目的について。昨年も同様の額を計上しておりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（永野 渉君） じゃあ、以上3点、政策係長。

○課長補佐兼秘書政策係長（赤間崇光君） それでは、1点目の地域活性化起業人制度について御説明いたします。

まず、こちらの地域活性化起業人制度につきましては、今現在実施しております地域おこし協力隊のサポートということで実施しております。こちらも国の制度を活用しまして、三大都市圏に所在、会社を有する社員を一定程度、10日以上利府町でサポート活動していただくということでこちらに来ていただいて、実施していただいていると。こちらも今現在5企業、もう1企業をちょっと調整はしているんですが、今現在は5企業の方がサポートとして入っていただいております。

具体的には、それぞれ会社の分野がございまして、商品開発の分野に特化した企業の方だっ

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

たり、あとは農業支援、イベント関係、そういった地域おこしが活動する上で起業、創業に向けたサポートをするということで、今現在5企業、来年度は6企業を見込んで計上しております。限度額が1社560万円ということの6企業を計上しているところでございます。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 2点目、施設運営係長。

○施設運営係長（太田博昭君） それでは、2点目のプロ野球2軍戦運営補助業務委託料の内訳について御説明させていただきます。

こちらに関しましては、4月、そして6月、9月、計5試合の当日の運営、それに係りますボランティア等の招集、あるいはその他の準備等に要する業務、また令和8年度に向けた業務ということの内訳になっております。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 3点目、スポーツ振興係長。

○スポーツ振興係長（菅澤誠也君） 3点目についてお答えいたします。

J A F 観光連携推進事業につきましては、昨年度と同じ額を計上させていただいておりますが、今年、令和7年度におきましても、T G R ラリー、あと利府ラリーの大きく2点、ほかに昨年度、町民向けにラリーセミナー等を実施しておりましたので、ラリーセミナー等、地元への普及も含めて活動を実施していきたいと思っております。

○委員長（永野 渉君） 11番 小淵洋一郎委員。

○小淵洋一郎委員 1項めで確認いたしました5企業ということでは言われたんですけども、これは県内の企業でしょうか、それとも東京からとかも入っているのか、お願いいたします。

○委員長（永野 渉君） 当局答弁、政策係長。

○課長補佐兼秘書政策係長（赤間崇光君） お答えいたします。

こちらの制度は、会社が三大都市圏、東京にある企業、三大都市圏なので名古屋とかも含まれるんですが、利府町に来ていただいているのは東京に本社がある企業から1名、専門家の社員を派遣していただいていると。それが今現在、令和6年度は5企業ということで、来年度は6企業を見込んで計上しているということでございます。

以上です。

○委員長（永野 渉君） よろしいですか。そのほか質問ありませんか。2番 阿部彦忠委員。

○2番阿部彦忠委員 50ページ、2款6項1目の7節報償費についてなんですけれども、ワークショップ運営事業協力者謝礼15名分なんですけれども、15名というのは誰を指すのでしょうか。

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

また、それぞれ15名いるという中での役割を教えてくださいたいと思います。

もう1点、54ページ、3目スポーツ振興費の18節、こちらスポーツ流鏝馬推進事業なんですが、これ何年かやっていますけれども、住民に普及したとはあんまり見られないかなという印象があります。これ今この金額でどのように進めているのでしょうか。普及に向けての計画などあるようでしたら教えてください。

○委員長（永野 渉君） じゃあ、以上2点。まず1点目、政策係長。

○課長補佐兼秘書政策係長（赤間崇光君） それでは、1点目の跡地利活用ワークショップ運営事業の協力者謝礼15名分ということで、こちらにつきましては、先日2月26日に第1回目のワークショップを開催させていただいております。その中で契約しております宮城大学の学生のほうに来ていただいたときの謝礼ということで、1,000円程度の交通費にはなりますが、そちらの謝礼ということで計上しております。こちらの15名分は、当初、申込みのグループの中に大体2名から3名の大学生を町として入れたいということで大学のほうと調整しております、学生さんなので毎回流動的にはなりますが、基本的には七、八人から十二、三人程度は毎回、そのワークショップに御協力いただけるということで、その分の謝礼ということで計上しているところでございます。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 2点目、スポーツ振興係長。

○スポーツ振興係長（菅澤誠也君） お答えいたします。

令和7年度300万円につきましては、今年、観光庁の補助事業も活用しまして実施しました流鏝馬競技と、大会前日から参加しました大会参加チャレンジということで、そちらも含めて今回計上させていただいております。

町民の方への周知ということにつきましては、今年度、中学生、利府高校生の弓道部を中心にボランティアの方に御協力いただいたり、大会参加チャレンジにも町内の中学生、利府中学校の弓道部の方に御協力いただいて参加していただいたほか、一般の方にも応募したところ、町内外から多くの方に参加いただきまして多くの方に知っていただいた、そのような状況でございます。

今年度についても、同じような仕組みができればと考えております。

○委員長（永野 渉君） いいですか。そのほか。3番 須田委員。

○須田聡宏委員 私のほうから2点お願いします。

先ほどもありました、51ページ、2款6項総務費になるんです。18節の施設のもともとあつ

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

た夢チャレンジの支援の事業なんです、生活環境課のほうに移行された理由、またはその経緯、その中身、予算額としては同じかと思うんですけども、その内容もそのまま引き継いでいるのかということをお尋ねします。

あともう1点は、54ページ、2款6項3目の12節委託料の最後、ドリームベースボール関係者昼食調理業務委託料とあるんですが、昼食調理というのは具体的にどういうことをするのかというのと、対象になるのはどういう人たちか、また、この業務についてどのような効果を狙ったものなのか教えてください。

○委員長（永野 渉君） 2点ですね。政策係長。

○課長補佐兼秘書政策係長（赤間崇光君） それでは、1点目の夢チャレンジ、生活環境課に移管した経緯等についてお答えさせていただきます。

まず、こちらは今、生活環境課のほうで広域団体のほうに3つか4つぐらい補助金を出しているかと思いますが、そういったものをもっと拡充すると、各団体とか個人、そういった町内で頑張っている方に拡充したいということで、今、既に団体の補助を実施している町民協働のほうに移管するというので調整しております。

ですので、詳しい内容は生活環境課に聞いていただければと思いますが、こちらの調整した中では、やはり拡充して地域の団体、それから個人をサポートということが目的でございますので、そちらに統合したということで生活環境課のほうで実施するというになっております。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 2点目、施設運営係長。

○施設運営係長（太田博昭君） それでは、2点目のドリームベースボールにつきまして御説明させていただきます。

本年11月3日に、中央公園野球場を会場としまして、宝くじの補助事業を活用しながら元プロ野球選手と、午前中は町内の小中学生に対する野球教室、午後は町内の草野球愛好者の方々との親善試合を予定しております。こちらの昼食調理につきましては、その関係者分ということでプロ野球選手等にはケータリングを提供するつもりでございます。

以上です。

○委員長（永野 渉君） いいですか、須田委員。そのほかございませんか。12番 高久委員。

○高久時男委員 じゃあ、2点ほどお願いします。

53ページ、2款6項企画費3目のスポーツ振興費の中の8節旅費103万2,000円は、誰がどこ

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

に何を目的に何回行くのか教えてください。

それと54ページの18節、スポーツ流鏑馬推進事業、諦められないんだな、これ。結構批判多いんですよ。何回も質問もしているしやっているんだけれども、また300万円計上してきている。取りあえず計上するのはいいんだけれども、この積算。去年、町長から聞かれているから、積算言ってくれと。だから、積算まず聞くから、それでちょっと教えてください。

○委員長（永野 渉君） じゃあ、以上2点。1点目、スポーツ振興係長。

○スポーツ振興係長（菅澤誠也君） お答えいたします。

主に旅費につきましては、当課で出張予定にしているところが、先進地の視察等しましてTGRラリー、あと将来的には全日本ラリーをしたいということで全日本ラリーの会場の視察のほか、今、利府町は町長が事務局長やっております日本サッカーを応援する自治体連盟が開催予定でございまして、そちらの分が東京での総会、事務局長が事務局長として行く公務がございましたので、そちらの分と、あとはサッカーを応援する自治体連盟関係で、会議の中で視察、施設研修というのがございまして、各全国にあるサッカーの施設を役員とか関係関連自治体で視察をして、どのようなまちづくりにつなげているかというところを見ております。

その中で、今年度につきましては、石川の金沢スタジアムができましたので、そちらのほうに今年度行かせていただきました。

来年度につきましては、役員会幹事、会長はさいたま市長になるんですけれども、会長を含め、役員会で話し合ったときに、長崎市の新しいスタジアムに行ってみたらどうかということで、そちらの分の予算を計上しております。

あとまた流鏑馬につきましても、桜流鏑馬、あとは遠野の流鏑馬、あとは縦の軸ということで福島県の古殿町というところでも流鏑馬はやっておりましたので、そちらの分についても今回、旅費のほうに計上させていただいております。

2点目の予算300万円の詳細につきましては、今年度の実績をベースに、まず競技運営費、大会チャレンジとして実施、計上しておりますのが競技運営費チャレンジ企画、今年同様の前日の初めてやる方が馬に乗って弓矢体験を含める企画も含めまして、今のところ想定しているところが十和田乗馬クラブのほうを想定しておりますけれども、そちらに支払う分として230万円を予定しております。

そのほかの70万円につきましては、やはり競技だけではなくてそれに向けた周知、ポスターであったり、あとは大会のノベルティー、あとは参加費の記念品に町の地場産品を提供したり、そのほか、出演者も出展されるということで、今回やはり馬つながりということで岩手県の滝

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

沢市のチャグチャグ馬コ来ていただきました。そのような馬に関わる謝礼等も含めて、そちらのほうで70万円を計上させていただいておりまして、合計300万円という形で今回計上させていただきます。

○委員長（永野 渉君） 12番 高久委員。

○高久時男委員 町長がやっている日本サッカー自治体連盟云々、今聞いたら会長をやっているという話で、これ年何回東京行っているの。

それと、あと今年は何か新潟のほうのスタジアム見に行くみたいだけれども、スタジアムを見に行って利府でスタジアムを造るわけじゃないでしょう、単純に。何しに行っているの。そこがよく分からない。

これは任期は何年ですか、町長の任期。もういいかげんに辞めてもらいたい。あと、任期を教えてください。

あとスポーツ流鏑馬の事業で300万円云々で十和田乗馬クラブが230万円で、去年たしか交流会をやっていない、交流会。これは入っているの、交流会。何か飲食あったらしいんだけど、何か議員のほうは手をつけなかったという話聞いているんだけど。会費も取らずにやったという、それは入っているの。

○委員長（永野 渉君） 1点目、ちゃんと整理して、スポーツ振興係長。

○スポーツ振興係長（菅澤誠也君） お答えします。

町長のサッカー事務局につきましては、一応規約上は2年とありますけれども、毎年、こちらについては総会で更新しておりまして、今、2期目ですか、4年をやっているところでございます。

あと先ほど委員御指摘の交流会につきましては、商工観光課所管にはなりますけれども、おもてなし事業で対応しているという状況でございます。

○委員長（永野 渉君） いいんですか。終わり。よろしいですか。じゃあ、6番 鈴木晴子委員。

○鈴木晴子委員 それでは、2点お伺いいたします。

50ページ、2款6項1目12節委託料、地域おこし協力隊支援業務委託料というところがございますけれども、令和7年度におきまして計画している活動内容、それから目標もあると思います。令和6年度でしたら、サウナであったりだとかシードルのワイン作ったりだとかそういう活動をしてきた方もございますけれども、全部を聞くわけにはいかないので、SNSで発信するであろう内容、ぜひ後で書類としてもぜひ頂きたいなと思うんですが、大きなものをまずは伺

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

いたいなと思います。

それで、令和6年度の予算計上の際、20名ということでお伺いしております。令和7年度4月1日からスタートする部分では何名でスタートするものなのか、お伺いしたいと思います。

それから、2点目、同じく18節の負担金、交付金のところの交付金、婚活サポート支援ということで先ほど説明いただきまして、県のみやマリ！をやるのかなと思うんですけども、まず町として、今まではイベントを開催して業務委託でやっておりました。それをこのような形に変えるといった経緯をまず伺いたいということと、15万円ということになっておりますが、この人数的なものの見込みを考えていらっしゃるかと思います、その部分をお伺いいたします。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 1点目、政策係長。

○課長補佐兼秘書政策係長（赤間崇光君） それでは、お答えいたします。

まず、1点目の地域おこし協力隊支援事業の7年度の内容ということでございますが、地域おこし協力隊、令和8年3月31日が一応委託契約の終了ということで、7年度が集大成ということになります。

主な活動を細かく言いますと、先ほど委員さん言われたとおりちょっと長くなってしまふので簡単に御説明いたしますが、昨年11月に、まず地域おこし協力隊全員で今やっている活動を町民も含め報告させていただいております。その中で次年度どういったものにつなげていくかということでございますが、プロジェクトの中で様々ございます。イベントであれば、今年度やりましたALLRIFU産業祭の運営補助、それから館山公園のライトアップの開催、あとはふるさとCM大賞とか、そのほか地域おこし独自で外に出てイベント活動を実施しております。

イベント活動につきましては、引き続き関係者の御協力いただきながら、自分たちで今度は運営できる、サポートなしでできるようにということで、7年度は自分たちが主体になって活動するイベント等をやっていくという形になります。

それから、サウナにつきましては、今年の5月ぐらいにはオープンできるんじゃないかということで、そういった部分は自分たちがやっているブランディングということでPR、それからサウナでの商品開発した梨ジュースだったり梨を使った商品、それから梨ワイン等を提供できればということで、今現在、調整しているところです。そういったところで新たな販路を開拓しながら、自分たちの起業、創業につなげていくということで考えております。

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

そのほかにも、様々細々自分たちの考えているプロジェクトあります。小さいところで行くと、先日、リフノスでコーヒーフェスタというものをやった中で一緒に活動させていただいたり、菅薦を使ったイベントをイオンさんと協力しながらやったりとか、そういった小さい活動も含めて自分たちがどうやって起業していくかということ、7年度は起業するというものを目指して取り組んでいくこととなっております。

計上している人数は、今現在13名が活動しておりまして、その13名分を計上しております。あと費用については、マネジメント費とかも含めて13名分を計上しているところでございます。

次に、婚活サポート支援ということで、今、委員さん言われたとおり、令和4年から婚活サポートということで4、5、6と委託して婚活のパーティーを開いたところでございます。全員で71名、3年間で参加していただいて6組が結ばれたということで、中身的にはよかったかなと我々も思っておりました。

毎回、参加者にアンケートのほう取らせていただいております。どういう支援がいいですかと、こういうイベントがいいのか、または別な出会いの場をつくる機会をどういうふうに設けたらいいかとかということでアンケート、それから生の声を聞かせていただいて、なかなかイベントですと個人個人が仕事の関係だったりプライベートがあって、参加したいけれども参加できないという部分がやはり多くあるということで、何がいいかというと、今現在、県でやっておりますみやぎ結婚支援センターと、あと青年会館でやっておりますみやぎ青年婚活サポートセンターと県が携わっている2つございます。その入会が大体1万1,000円程度かかりますので、1万円の15名補助をできればいいなということで、逆にそういったセンターにつないでいただいて、そちらで結婚活動できるような形で町はサポートしていきたいということで、イベントではなくそういった補助金という形を今年度は実施したいと思っております。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 6番 鈴木委員。

○鈴木晴子委員 地域おこし協力隊、大分頑張っていることは私も本当に見させていただいております、すばらしいなと思っておりました。

今、20名だったものが13人に減ったという部分では、3年間で町のほうで考えていた内容というものもあると思います。7人というのは、半分までいかなくても結構な人数が減ったのかなというところがあります。その減った分という業務量というんですか、仕事、計画していた内容というのは残りの13人が負うものなのか、そのところを進める上で影響はないのかというところを伺いたいなというところ。

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

今、課長が令和7年度はサポートなしで活動していきますと言いました。ただ、サポートしないと難しい部分もあるのかなと思って、その境目は地域おこし協力隊、分からないんじゃないかなと思っていてるんです。その辺、どこをサポートしてもらって、どこがサポートしなくても大丈夫という部分の話合いをしっかりとさせていただきたい。その方々がぜひ起業できる体制を町として、ここはもう予算も絶対取れないから無理なんだよという言い方ではなく、なるべく起業できるような形でのサポートを考えていって寄り添っていただけたらと思います。その部分をお伺いいたします。

それから、婚活のほうなんですけれども、皆様の声を伺って支援という形に変えるというところで、声を伺って変えるということは本当にいいことかなと思います。ただ、やはりイベントも大事な部分なのかなと、啓発という部分で。令和7年度は難しくても、次の部分でまた声を聞きながらその辺は臨機応変に対応していただけないものなのかなと思いますけれども、まずその部分ではPRが大事だと思っております。15人の方を募集するんですもんね。今まで71名ですか、申込みがあって6組ということで、残りの方にPRするとか、あと大きくPRするとか、残り七十何人の中で成婚できなかった方々には丁寧な御案内をしていただけたらと思いますけれども、その辺お伺いいたします。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 政策係長。

○課長補佐兼秘書政策係長（赤間崇光君） それでは、お答えいたします。

まず、町では3年間で20名ということで確かに見込んでございました。それが今現在13名ということで、7名減ということになっております。もちろん退任された中では、自分で起業、新しいことをやると、この経験を生かしてやりたいという方もいましたので、決して後ろ向きで辞めた方々たちではないということでございます。

その分、辞めた方々の負担が地域おこしに来ているのかということでございますが、決して地域おこしに全部の負担を負わせているわけではなくて、もちろん、例えば、キッチンカー出すイベントなんかは自分たちで厳選して、出る場所、それから出す場所、そういったものを検討しながら出していっているという形、例えばですが、そういった形になっていきますので、決して少なくなった分、誰かが負担しているということではございません。

先ほど、サポートしないというわけではなくて、もちろん地域活性化起業人であったりアドバイザー、それから町のほうも、今後、起業に向けて補助制度だったり起業、創業の県・国でやっている支援制度等をつなぎながらやっていくと。サポートというか、やはり起業するとな

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

ると経営面だったり、例えば、そういったイベントやるにしても、会場をどうするかとか広報をどうするかとかPRどうするかとか、そういったものはやはり自分でやっていかなきゃいけないという部分がありますので、そういった部分については、やはり自主的に自分で足を使って調べるとか、キッチンカーをやるのであれば材料費がどれぐらいで収益が上がるのかとか、そういう収益計算とかは今まで研修してきたものを7年度、ぜひ集大成で自分たちでやっていただいてほしいという意味でのサポートをしない、サポートはするんですが、そういったものは自分でやってほしいということでの意味合いでございます。

次に、婚活サポート支援につきましては、委員さん言われたとおり、せっかく補助制度つくっても誰も知らなければいいものになりませんので、お認めいただければ積極的にPRはしていきたいなと思っております。

イベントの継続という部分でございますが、我々も3年間、様々やってきまして、意外と調べると民間でやっている事業も結構あると。今回、71名の方に参加していただきましたが、決して利府町だけではなくて仙台市内でやっているものとか、あとほかの部分で民間でやっている部分に結構積極的に参加しながらいいお相手を見つけていくということを実施していますので、決して行政が全面的にやっていかななくても、そういった部分で十分イベントを補えるのかなど。その代わりに、やはりこういった登録とかそういったのをサポートしながら結婚を促すというか、サポートしていくということが行政のほうで必要ではないかということで、今回、こちらのほうに切り替えたということでございます。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 3回目、6番 鈴木委員。

○鈴木晴子委員 地域おこし協力隊の部分であります、13名で7名減ったという部分でありますけれども、令和7年度、減ってほしくないなという部分はありますよね。そういうところで、やはり困っているときの相談体制というのが大事なのかなと思っております。その相談体制をもう少し、7名ということはちょっと重く受け止めていただきたいなと思っております。です、もしかしたら何か原因があるのではないかという心配を私はしている。中身全然、すみません、理由は聞いていないところですが、それぞれ1人ずつ理由があって、先ほどちゃんと起業している人もいるということで、個人的な理由かもしれません。ですけれども、何かあったときのための相談体制、企業も関わっている部分ですから難しいのも分かるんですけれども、企業がどのような形で管理なさっているのかというところの監査的な部分もありますし、まずは地域おこし協力隊がしっかりと活動できる相談体制を町のほうでも整えてもらえ

ないものなのか。

そして、先ほどサポートなしで活動するという部分です。その部分、サポートはもちろんするけれども、サポートを今までもしてきたしという、1人で歩けるような形での影のサポートという形の答弁だと思うんですけども、考えるという部分は、多分、彼たちはできると思うんです、そういうチャレンジャーの人たちが来てくれていると思うので。ただ、資金的な部分がかなり厳しいと思っているんです。その部分の体制を整えてもらえないかと。起業するために、やはりそういうふうな資金的な支援が必要なのではないかと考えているんです。それで、利府町で起業してもらいたいと思いますので、その辺の支援体制を整えられるものなのかという部分、それから13人に減ってしまったという部分、事業者としてどのように町に報告しているのかという部分をお伺いしたいと思います。

それから、婚活のほうなんでけれども、婚活のほうは先ほど言いました71人で6組御成婚だから、残った方々への御案内をしてくださいと先ほど言ったんですけども、その辺ちょっともう1回と、イベントはそういうふうな支援のほうに変えるからやらないという答弁だったように感じますが、やはり公共がやっているというのは物すごく安心感、信頼感があるところですので、毎年とは言わず、ぜひ声を聞きながら柔軟に開催していただけたらなと思っている、私の感想です。

以上です。

○委員長（永野 渉君）　じゃあ、2点目はいいですか。感想だから、2点目も。

じゃあ、1点目、秘書政策課長。

○政策課長（藤岡章夫君）　再質問にお答えいたします。

1点目の地域おこし協力隊の関係でございますが、まず初めに、相談体制ですけれども、町で、私、課長ですけれども、年に2回、地域おこし協力隊と面談しております。採用時には不安な点とか、それから将来どういう目標で向かっていくかとか。そして、委託事業でございますので、委託している会社のほうでもきちんと面談をして、月に1回、2回程度、定期的に目標を立てて内容を相談していると、面談しているというところです。

私も面談しておりますが、やはり皆さんは、委員さんおっしゃるとおり資金面だったり、それから利府町でどうやって会社を立ち上げていくか、様々不安な面があり、当初目標の20人からちょっと減ってしまっているところもあります。会社を立ち上げていくには、やはり資金面だったり、先ほど課長補佐のほうで何度も答弁していますが、様々な経理上の関係だったり関係性、人間関係の構築など、いろいろな問題、諸事情があります。そういったことから、まず

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

先ほど答弁しているとおりに、資金面については、国や県、そして町も含め、今後どういった支援ができるか、起業の内容にもよりますけれども、事業の内容によって対応していきたいなと思っております。

それから、事業者からの報告ということでございますが、きちんと定期的に打合せを行っておりまして、全員の活動内容だったり悩みだったりそういったものは町のほうでも報告を受けております。

また、地域おこし協力隊は町から委嘱していますので、町の委嘱ということもあって定期的にいつでも連絡取れる体制になっていますので、御本人も困ったときは連絡いただくケースも担当のほうにもありますし、内容に応じてきちんとサポートをしながら対応しておりますので、令和7年度も引き続き、町も万全の体制で1人でも多く起業できたり移住していただいたりということで、商工観光課も連携しながら全体で対応していきたいなと思っているところでございます。

次に、2点目の婚活サポート支援についてでございますが、先ほど71人に御案内してほしいということですが、応募者はイベント時にそのイベントのみで使用する目的で個人情報を提供していただいて、それ以外は町は使わないとしております。そういったことから、御結婚されている方は2年たっていらっしゃるかもしれませんし、不審がられますので、改めて申し込んだ方、過去の方には御案内は難しいのかなと思っております。その代わりに、町ではきちんと宣伝をしてSNSなどで周知して参加者を広く募っていきたいと考えております。

あとやはり公的機関でやっていて安心感はあるものの、先ほどのアンケート調査であったとおり、ほかの民間企業ではマッチングアプリもあったりいろいろなイベントやっています。やっぱりプロはプロですばらしいイベント内容もやったりしますので、町で安心感はあるものの、今回、一旦こちらの補助に切り替えて経済面的なサポートに一度切り替えてみるということで、今後、また要望があったときにはイベントなども実施していければと考えております。

○委員長（永野 渉君） よろしいですか。

婚活なんですけど、私の余計なことですけども、少子化対策にもなりますので積極的によろしくをお願いします。

そのほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（永野 渉君） ないようですので、企画部の予算審査を以上で終わります。

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

当局は退席願います。

ここで暫時休憩します。再開は14時25分とします。

午後2時13分 休憩

午後2時25分 再開

○委員長（永野 渉君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

審査日程表により、総務部及び選挙管理委員会事務局の予算審査を始めます。

所管事項の内容を説明願います。

初めに、総務部長。

○総務部長（嶋 正美君） 皆様、お疲れさまでございます。

それでは、令和7年度利府町一般会計予算における総務部所管の予算内容について御説明申し上げます。

初めに、各種会計予算書の7ページを御覧願います。

第2表債務負担行為の上から2番目、総合行政ネットワークLGWAN接続機器保守事業につきましては、令和7年度からガバメントクラウドへ接続するルーター等、LGWAN接続機器の保守に要する経費を計上しております。

次に、利府町各種会計予算説明書①を御用意願います。

初めに、歳入予算の主な内容について御説明いたします。

7ページをお開き願います。

14款1項1目交通安全対策特別交付金1節交通安全対策特別交付金につきましては、道路区画線や道路反射鏡等の交通安全施設の設置及び維持補修等の財源として、前年度と同額の500万円を計上しております。

次に、15款1項1目総務費負担金2節総合情報システム負担金につきましては、水道事業会計及び下水道事業会計から職員数の案分により、総合情報システムの利用負担金として前年度とほぼ同額の1,170万円を計上しております。

同じく4節宮城県後期高齢者医療広域連合職員派遣負担金につきましては、宮城県後期高齢者医療広域連合に利府町から派遣している職員分の人件費を負担金として680万4,000円を計上しております。

11ページを御覧願います。

17款2項1目総務費国庫補助金1節社会保障・税番号制度システム整備費補助金のうち、自

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

治体中間サーバープラットフォームサービス利用補助金につきましては、国が主体となり中間サーバープラットフォームを構成する機器更新が実施されることに伴い、費用を負担する構成市町村への国費措置分として412万9,000円を計上しております。

同じく2節デジタル基盤改革支援補助金につきましては、国が定める標準準拠システムへの移行に伴う改修費用やガバメントクラウド利用に係るシステム稼働環境設定、回線使用等に要する財源として1億5,522万円を計上しております。

15ページを御覧願います。

18款2項1目総務費県補助金3節石油貯蔵施設立地対策費補助金につきましては、石油貯蔵施設所在地に隣接する市町村に対し交付されるもので、前年度とほぼ同額の1,284万5,000円を計上しております。

23ページを御覧願います。

23款4項3目雑入7節雑入のうち、宮城県市町村振興協会研修助成金92万9,000円、次の宮城県町村会研修助成金50万円につきましては、職員が参加する研修の受講費用について、その一部がそれぞれの団体から助成されるものとなっております。

続きまして、歳出予算の主な内容につきまして御説明いたします。

27ページを御覧願います。

2款1項1目一般管理費につきましては、総務課総務係及び人事係の事業費を計上しております。主な内容といたしましては、法令業務や文書発送経費、職員の研修や福利厚生関係の人事管理業務に要する経費となっております。前年度と比較して1,202万円減の3億3,637万5,000円を計上しております。減額の主な理由といたしましては、3節職員手当等のうち、職員退職手当組合負担金について、令和7年度は定年延長に伴い定年退職者がいないことから減額となっているものです。

また、29ページ、12節の委託料のうち、新たに計上したものといたしまして、下から2番目になります職場改善業務委託料を計上しております。こちらは職員の勤務環境を改善し業務効率と職員の意欲向上を推進するため、一部の執務室をモデルフロアとして改装を実施し、効果検証を行うものでございます。

35ページを御覧願います。

2款1項6目情報政策費につきましては、前年度と比較して1億2,818万9,000円の増の4億7,292万5,000円を計上しております。増額の主な要因につきましては、全国全ての地方自治体に義務づけられているガバメントクラウド上の標準準拠システムへの移行に対応する経費とし

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

て、11節役務費においては、中段ぐらいになりますが、住民基本台帳ネットワークシステムの公開や次のページのシステム標準化対応サーバー機器の保守に要する経費、同様に12節委託料においても、標準準拠システムへの移行に係るガバメントクラウド接続回線管理運用業務委託、次の標準準拠システム移行支援業務委託に要する経費、同様に13節の使用料及び賃借料におきましても、一番下でございますが、ガバメントクラウド利用料を新たに1,755万2,000円を計上したことによるものです。

なお、財源につきましては、歳入で御説明いたしましたデジタル基盤改革支援補助金において、国より交付されることとなっております。

続きまして、39ページを御覧願います。

2款1項9目交通安全対策費につきましては、交通安全施設の整備等に要する経費で前年度とほぼ同額の1,295万9,000円を計上しております。

次に、40ページを御覧願います。

同じく10目防犯費につきましては、防犯灯維持管理や防犯協議会等への負担金、犯罪被害者等に対する支援に要する経費で、前年度とほぼ同額の1,346万1,000円を計上しております。

次に、96ページを御覧願います。

9款1項1目非常備消防費につきましては、前年度と比較して2,784万円増の6,085万9,000円を計上しております。増額の主な要因といたしましては、12月定例会で債務負担行為の承認をいただきました12節委託料、石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用した消防団東部分団車庫兼詰所新築工事实施設設計業務委託及び14節工事請負費に東部分団詰所等建築工事に伴う経費を計上したことによるものです。

次に、97ページを御覧願います。

同じく2目消防施設費につきましては、前年度と比較し4,236万9,000円増の4億1,471万9,000円を計上しております。増額の主な要因といたしましては、定年延長や人事院勧告による手当等の見直し、車両の更新等により、塩釜地区消防事務組合負担金が増額となったことによるものです。

最後に、3目防災費につきましては、前年度と比較して3億3,511万6,000円増の4億6,320万6,000円を計上しております。増額の主な要因といたしましては、防災行政無線システム更新に伴う既設屋外拡声子局84か所の改修を実施することから、14節工事請負費に防災行政無線改修工事に伴う経費を計上したことによるものとなっております。

以上が総務部所管の令和7年度の予算概要でございます。御審議のほどよろしく願いいた

します。

○委員長（永野 渉君） 続いて、選挙管理委員会事務局長。

○総務課長兼選挙管理委員会事務局長（和田あずみ君） それでは、選挙管理委員会事務局所管の令和7年度当初予算の内容につきまして、各種会計予算説明書①により、その概要を御説明いたします。

初めに、歳入予算でございますが、19ページを御覧ください。

18款3項1目総務費委託金5節選挙費委託金といたしまして3,242万7,000円を計上しております。内容といたしましては、在外選挙人名簿調整費のほか、令和7年度内に予定されている参議院議員通常選挙と宮城県知事選挙の執行経費分を計上しております。

次に、歳出予算について御説明いたします。

45ページを御覧ください。

2款4項1目選挙管理委員会費でございますが、予算額は前年度比36万3,000円減の393万9,000円を計上しております。

予算の主な内容といたしましては、事務局職員1名分の人件費のほか、選挙管理委員会委員4名分の報酬や選挙管理委員会の運営に要する費用を計上しております。

続きまして、46ページを御覧ください。

2款4項2目参議院議員選挙費でございますが、1,690万2,000円を計上しております。主な内容といたしましては、本年7月28日に任期満了を迎える参議院議員の通常選挙に要する経費で、投票管理者立会人及び選挙管理委員会委員の報酬、事務従事者の手当、ポスター掲示板や選挙事務用品などの消耗品費、入場券等の郵便料に加えて、イオンモール新利府南館に増設することとしております第2期日前投票所設置に係る使用料や回線接続料を計上しております。

続きまして、47ページを御覧ください。

2款4項3目宮城県知事選挙費でございますが、1,563万5,000円を計上しております。主な内容といたしましては、本年11月20日に任期満了を迎える宮城県知事選挙に要する経費として、参議院議員選挙費と同様に項目ごとに計上してございます。

続きまして、48ページを御覧ください。

2款4項4目利府町長選挙費でございますが、1,510万5,000円を計上しております。主な内容といたしましては、令和8年3月1日に任期満了を迎える利府町長選挙に要する経費として、参議院議員選挙費及び宮城県知事選挙費と同様に計上しているほか、18節負担金、補助及び交付金において、選挙公営費負担金として137万6,000円を計上しております。これは利府町議会

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

議員及び利府町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例によりまして、公費負担の対象とされております選挙運動用自動車等の使用、選挙運動用チラシの作成、ポスターの作成などに係る公費負担分でございます。

以上が選挙管理委員会事務局の令和7年度当初予算の概要でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（永野 渉君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。10番 今野委員。

○今野隆之委員 私からは3点質問させていただきます。

まず、29ページ、12委託料、職場環境改善業務委託料ということで先ほど説明あったんですけども、もっと具体的に説明していただきたいです。

2点目、37ページ、13節使用料及び賃借料、利府町防災等アプリ利用料ということで計上されていますけれども、既存の、例えば、防災無線とかあと町のホームページ、SNSとの連携はどう考えているのか。それと周知策ですか、どのように周知していくのか。それと住民利用率の目標はどのぐらい見込んでいるのか伺います。

最後に、選挙管理委員会なんですけれども、7年度は3つ選挙が行われるということで何か新たな取組をするということで予算計上されているのかどうか、お伺いします。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 以上3点、答弁願います。総務係長。

○人事係長兼総務係長（佐藤 恵君） それでは、1点目の御質問にお答えいたします。

職場環境改善業務委託の内容なんですけれども、先ほどの部長の説明と若干重複しますが、本業務は、職員の勤務環境を改善しまして作業効率の向上やコミュニケーションの活性化を推進し、よりよい行政サービスの提供につなげることを目的としておりまして、その具体的な内容としましては、一部の執務室をモデルフロアとしまして、多目的に使えるスペースや机などそういったものを配置し柔軟性の高いレイアウトをすることで、先ほど申し上げました作業効率の向上、またコミュニケーションの活性化を図りたいと考えているところでございます。

実際にその整備のほうした後に、職員アンケートなども行いながら効果検証を行い、その後の事業の進め方について検討してまいりたいと考えているものでございます。

○委員長（永野 渉君） 2点目、危機管理係長。

○課長補佐兼危機管理係長兼生活安全係長（庄司正博君） 2点目の防災アプリの連携等でございますが、防災アプリのほうからいろいろな生活のごみの回収であったり町民バス、公共情報

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

についたりの連携のほうも活用していきたいと考えております。

あとはこちらの目標なんですけれども、2026年度までに4,000名ほどの利用登録を目標として進めていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 3点目、選挙係長。

○課長補佐兼町史編さん係長兼選挙係長（大場雄文君） 御質問にお答えいたします。

新しい取組ということなんですけれども、今、先ほど説明ありましたとおり選挙のほう3つございます。まずはそこをしっかりとやっていくということと、常時啓発とあと選挙時の啓発、これも通常どおりここは取り組んでまいりたいと思います。

それで、当初予算と比較して新しい取組というところでは、選挙時のほうなんですけれども、選挙公報のほう、団地につきましては、こちらのほうポスティングというのを採用しまして実施していくというようなことを、6年度と比較すると新しい取組ということで予算のほうに計上しております。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 10番 今野委員。

○今野隆之委員 1点目の職場環境改善業務委託料ということですが、一部の執務室ということなんですけれども、課ごとに多分やるのかなと。係かな、課か分からないですけれども、レイアウトも変えたりするということなんですけれども、何課ぐらいを予定しているのか教えてください。

2点目の防災アプリ、これ私も入れてみましたけれども、非常に使いやすい感じでいろいろな情報も得れるし、あとこっちから発信もできるみたいなので、これの周知というのはよろしくをお願いします。4,000名を目標にということなんですけれども、何かインセンティブのようなものをつけるというのも1つの方法なのかなと思っているんですけれども、そこら辺どう考えているのか教えてください。

次に、選挙のほう、団地に対してのポスティングを行うということなんですけれども、これ全戸カバーできるんでしょうか。よろしくをお願いします。

○委員長（永野 渉君） じゃあ3点、総務係長。

○人事係長兼総務係長（佐藤 恵君） では、1点目の質問にお答えいたします。

一部の執務室ということで、今のところ秘書政策課のフロアの部分をモデルフロアとして改装をしたいと考えております。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 危機管理係長。

○課長補佐兼危機管理係長兼生活安全係長（庄司正博君） 2点目の周知方法でございますが、幅広く広報を進めていきたいと考えておりますので、広報紙、あとはLINE等を活用しながら、幅広く広報のほう図ってまいりたいと考えております。

また、インセンティブの件でございますが、こちらについては、今のところ計画のほうには入っておりませんが、今後そういったところも含めて考えていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 最後、選挙係長。

○課長補佐兼町史編さん係長兼選挙係長（大場雄文君） 選挙の公報の全戸配布、全戸でポスティングができるのかというお話だったんですけども、こちらはある程度住居がまとまったエリアでないとポスティングというのは難しいということで、町内の団地、しらかし台、花園、青山、青葉台、菅谷台、あと皆の丘、こちらの6団地がまとまっているということで、こちらの部分だけということで今回採用しているところでございます。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 3回目、10番 今野委員。

○今野隆之委員 3点目についてなんですけれども、団地については全戸ポスティングできるということで伺いました。それで、団地以外どのようにしていくのか。町内会に委託するのか、新聞折り込みにするのか、そこら辺のところをお願いします。

○委員長（永野 渉君） 選挙係長。

○課長補佐兼町史編さん係長兼選挙係長（大場雄文君） ほかのところにつきましては、おっしゃったとおり新聞折り込みのほうで対応していくというところでございます。

以上です。

○委員長（永野 渉君） じゃあ、11番 小淵委員。

○小淵洋一郎委員 今の配布要領についてちょっと確認したいんですけども、ポスティングと新聞折り込みを併用した場合に全部で何世帯分配布できるか、計算されていると思うんですが、お示してください。

○委員長（永野 渉君） 選挙係長。

○課長補佐兼町史編さん係長兼選挙係長（大場雄文君） お答えいたします。

ポスティングの場合ですと全部で6,500世帯程度です。あと新聞折り込みですと4,500世帯と

見込んでおります。

新聞折り込みのほうを活用できない、取っていない方が当然出てくるということになるんですけれども、その辺りは、依頼があれば選挙管理委員会のほうで郵送で直接広報のほうを配布ということも考えております。

以上でございます。

○委員長（永野 渉君） いいですか。次、9番 浅川委員。

○浅川紀明委員 3点ほどお伺いします。

まず、1点目は防災アプリについて、37ページのところです。

先ほど今野委員からも質問がありましたけれども、私も防災アプリまもりふインストールしました。非常に使い勝手いいなと感じました。近隣の某市あるいはM県の防災アプリよりはるかにいいと思います。特にいいなと思ったのが、住民レポートということで双方向で住民からいろいろな道路の冠水状況とかそういったものが町へ届くということで、それがいいなと思いました。あともう一つは、文字が比較的大きくて使う高齢者の方の利便性も考えているのかなと思った次第です。

それで、話を戻して、利用料として138万円余りが計上されていますけれども、システムというのはつくって終わりじゃなくて、今後、さらにいいものにつくり変えていくと、そういう開発も必要かと思うんです。この利用料というのはシステム利用料だと思うんですが、新たに機能改善していくというようなことに関わる経費というのは含まれているのでしょうか。それが1点。

それから、2点目は選挙関連で、先ほど選挙管理関係の説明ありましたけれども、46ページ、47ページ辺りです。参議院選挙はじめ3つの選挙が予定されているという中で、もし仮に、巷間うわさされている衆参同時選挙というようになった場合に、この参議院選挙に計上しているものの2倍ぐらいお金がかかるのか、補正を組まなきゃならなくなるのか、あるいはほとんど共有化できるのでプラスアルファ程度で済むのか、そのことを教えてください。

それから、3点目は、3つ目の選挙で町長選のことがありました。その中で公費負担が計上されております。これは137万円余り計上されていますけれども、何人ぐらいの候補者を見込んでこの137万円の金額が公費負担として計上されているのか、参考までに教えてください。

○委員長（永野 渉君） じゃあ、1点目、デジタル推進係長。

○室長補佐兼デジタル推進係長（後藤俊寿君） それでは、防災アプリの予算の内訳ということでお答えしたいと思います。

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

こちらのほうは毎月の利用料のみの計上となっております。今はアプリ出来上がったばかりでちょっといいところしか多分見えていないと思うんですけども、ダウンロード数がどんどん増えていけば、いろいろ要望とかもうちょっとこういうところをこうしたらいいよねというところは多分見えてくると思いますので、そういった段階で予算措置等をいろいろ考えていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 次、選挙係長、2点。

○課長補佐兼町史編さん係長兼選挙係長（大場雄文君） まず、ダブル選挙になったときの選挙費ということなんですけれども、細かなところはちょっと計算してみないと分からないんですけども、確実に言えることは、選挙が2つから3つ増えまして5つになるものですから、それに対応する職員が必要になりますので人件費の補正は必ず出てくると思います。

あとすみません、最後の町長選挙の公費負担のところなんですけれども、こちらは一応計上は4人ということで計上しております。

以上です。

○委員長（永野 渉君） よろしいですか。じゃあ、そのほか。7番 金萬委員。

○金萬文雄委員 じゃあ2点、すみません。

36ページの2款1項6目の情報政策費のところなんですけれども、委託料、今回1億8,000万円ということなんですけれども、前年から比べて1億1,000万円ほど増えているという状況なので、先ほど大まかな説明を受けましたけれども、申し訳ありませんが、増えたところの内訳をもう一度お伺いしたいと思います。

2点目、37ページ、同じ情報管理のところ、情報政策費のところなんですけれども、説明ではLGWAN統合ネットワークの自治体統合ネットワークのことだと思うんですけども、これがシステム撤去を委託して、その下のほうに賃貸というところにもう1回賃貸するとなっているんですけども、こら辺の説明をいただきたいということです。

それから、3点目としては、ガバメントクラウド、これデジタル庁の制度共通クラウドだと思うんですけども、このことについてちょっと具体的な説明を、どういうものなのかということの説明をいただきたいと思います。

○委員長（永野 渉君） 以上3点。最初、デジタル推進係長。

○室長補佐兼デジタル推進係長（後藤俊寿君） お答えいたします。

まず、36ページの委託料の1億1,000何がしの増額の部分なんですけれども、真ん中、若干下ほど

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

でございます。ガバメントクラウド接続回線管理運用業務委託料、こちらと標準準拠システム移行支援業務委託料ということで、増額の主な部分としてはほぼこの2点で、それ以外についてはほぼほぼ例年どおりの金額となっております。具体的な金額につきましては、ちょっと予定価格の絡みもございますので、お答えは差し控えさせていただければと思います。

それから、同じく委託料の旧LGWANの機器撤去業務と、37ページの賃貸借料の下ほどにございますLGWAN機器賃貸借料につきましては、来年度、令和7年の9月に、第5次LGWANということで全てネットワーク公開になります。機器の入替えというのが発生しますので、委託料のほうに計上しておりますのは、現在利用しているLGWAN関係のルーター等の機器の撤去料と、賃借料については新たに導入する分。今回の回線、第5次LGWANの導入に当たって回線の冗長化というのを図りますので、こちらの分で若干利用料ですとか増額になっている部分がございます。

○委員長（永野 渉君） 3点目、デジタル推進室長。

○デジタル推進室長（吉田雄一君） 3点目の御質問、ガバメントクラウドに関する基本的な考えでしょうか。こちらのほうにお答えしたいと思います。

ガバメントクラウド、あと併せて地方公共団体システム標準化につきましては、令和3年の9月に地方公共団体情報システムの標準化に関する法律というものが定められまして、これに基づきまして、地方公共団体で利用している主に重機等に関する二重業務と言われるもの、基幹系業務というものがございますけれども、こちらの統一標準化に取り組むことによりまして、現在、各自治体がばらばらにこちらのシステムのほうを改築して対応して行政サービスを提供しているようになっておりますけれども、こちらの負担を国の定めた基準のシステムに移行することにより、人的・財政的負担を軽減しまして、地域の実情に即した住民サービスの向上に注力できるようにということの基本的なコンセプトで、国のほうが各自治体に対して義務づけているものでございます。

基本、標準化システムにつきましては、全自治体が義務化されているものであり、ガバメントクラウドへの移行に関しては努力義務ということでは言っているものの、最終的にはガバメントクラウドに住基システムとかを移行することも標準化の中に含むということでもう国のほうが言い切っていますので、ほぼほぼ義務化ということになっております。これは令和7年中、来年度中に全国の自治体が二重業務の標準化というものを完成させるということで国のほうから義務づけられ、これに取り組んでいるものになります。

基本的な概念につきましては、以上でございます。

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

○委員長（永野 渉君） 7番 金萬委員。

○金萬文雄委員 3点目のことでちょっとお伺いしたいんですけども、ガバメントクラウド、これ多分、国の指定するクラウドに上げるんだと思うんですけども、その場合、非常に個人情報流出とかの危険とか別利用のリスクとかというのがちょっと心配な部分があるんですけども、そこら辺はどうなのかということと、それから住民の個々の個人情報の承諾というのは必要なのかどうかというのをまず伺いたいと思います。

○委員長（永野 渉君） 当局答弁、デジタル推進室長。

○デジタル推進室長（吉田雄一君） ただいまの御質問にお答えいたします。

今野委員おっしゃるとおり、やはり平成28年頃の年金機構の問題等を経まして、個人情報に対する意識というのは現在非常に高くなってきております。

そうしたものにも対応するために、政府のほうはこのガバメントクラウドという構築し、こちらのほうに全てシステムのほうを移行するよというということで義務づけたものでございまして、ガバメントクラウドに至る通信回路、データをやり取りする通信回路につきましても、国のほうが定める厳しい基準によってセキュリティー対策を十分にするというので、今回、こちら併せて業務委託のほうにガバメントクラウド接続回線管理運用業務委託料ということで掲載させていただいております。

こちらにより、自治体とガバメントクラウド間の専用回線、利府町だけの専用回線を構築いたしまして、外敵が入らないようにいたしまして、こちらを通信事業者のほうに運用していただくといった中身になっておりまして、セキュリティーに関しては国の基準にのっとりとなっております。

あとすみません、住民の同意というところをおっしゃられたと思いますけれども、こちらあくまで国のほうが法律により義務づけていたところの事業になりますので、そちらのほうの法律にのっとり自治体は事業を遂行するものと考えています。

以上でございます。

○委員長（永野 渉君） 7番 金萬委員、3回目。

○金萬文雄委員 はい、3回目。こういった更新とか新しいネットワークの構築に伴って、先ほど1点目で言ったように、毎年、億単位で増額しているわけですけども、ちょっとデジタル庁のデータだと、利府町はCIO、つまり最高情報責任者の補佐官が任命されているということがあったんですけども、これ補佐官というのは専門的知見から補佐するというふうになっていると思うんですけども、この利用料とか賃貸料の適正価格の判断にどう関わっているの

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

かというのをちょっとお伺いしたいと思います。

○委員長（永野 渉君） それでは、デジタル推進室長。

○デジタル推進室長（吉田雄一君） ただいまの御質問にお答えいたします。

こちらのガバメントクラウド及び標準化業務に関してですけれども、国のほうも始めたばかりの新しい事業でございます。標準価格につきましては、我々も市中の多くのベンダー、あとは各自治体のほうから利府町のほうで活用していますロゴチャットであるとか、いろいろなコネクションを使いまして、あとデジタル庁のほうに直接紹介等も今はできますので、こういった情報収集に取り組むことにより、あとは利府町のほうには幸いなことにDXアドバイザーもNTT東日本のほうから、通信事業者のほうから来ていただいているということがございます。この方の知見などをお借りしまして、様々な情報収集を機を見て行いながら価格の低減等に努めてまいりたいと考えておりますので、御了解いただきたいと思います。

以上でございます。

○委員長（永野 渉君） それでは、質問なさる方はそのほか。須田さんもですね。

じゃあ、ここで暫時休憩いたします。再開は15時15分にします。

午後3時06分 休憩

午後3時15分 再開

○委員長（永野 渉君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

質問なさる方、11番 小淵洋一郎委員。

○小淵洋一郎委員 2点質問いたします。

40ページ、2款1項10目14節工事請負費、昨年と同様に防犯街路灯新設工事として52万3,000円が計上されておりますが、これはどこの地区に何か所建てるのか。

2点目、同じく2款1項10目19節扶助費、犯罪被害者等見舞金50万円という形で毎年計上されておりますが、その年によってそれぞれ支出の実績は違うと思うんですけれども、昨年、一昨年の実績について教えてください。

○委員長（永野 渉君） じゃあ2点、危機管理係長兼生活安全係長。

○課長補佐兼危機管理係長兼生活安全係長（庄司正博君） お答えします。

防犯街路灯の新設工事等につきましては、現在のところ、森郷の藤田地区に2基を予定してございます。

続きまして、2点目の扶助費の犯罪被害者等の見舞金のほうでございますが、今年度と昨年

度の実績はゼロという形となっております。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 11番 小渕洋一郎委員。

○小渕洋一郎委員 防犯街路灯についてなんですけれども、これももちろんLEDになっていると思うんですけども、町内での防犯街路灯についてLEDの進捗率はどの程度になっているか教えてください。

○委員長（永野 渉君） じゃあ1点、生活安全係長。

○課長補佐兼危機管理係長兼生活安全係長（庄司正博君） LEDの進捗状況でございますが、そちらについてはほぼほぼ100%LED化されているということでございます。

以上です。

○委員長（永野 渉君） よろしいですか。そのほかございませんか。12番 高久委員。

○高久時男委員 では、2点お願いします。

28ページ、2款1項1目一般管理費12節委託料2,420万6,000円となっておりますけれども、この中で新しい事業である、先ほどもちょっとありましたけれども、職場環境改善業務委託料は何ぼぐらいなんですか、金額。金額が分からないと判断できない。

それと、これに付随してなんですけれども、この12節委託料は2,402万6,000円と1,000円単位まで出ているんだよ、ここで。1,000円単位まで。何でこっちの細かいところが入らないの。すごく疑問なんだけれども、ここが。全部が全部入れろというわけじゃないけれども、少なくとも新しいメニューがあるんだったら、それがどのぐらい金がかかるかぐらい入れてほしい。じゃなきゃ判断できないから。入札ある。いや、入札あっても何も構わないけれども、一体どのぐらいの金額なのか。ここで言えないんだったら後で教えて。

あともう1点、あと39ページ、2款1項7目自治振興費18節の中で、まちづくり支援事業というのは補助金が去年は60万円あったんですけども、今年は切れているんです。その理由を教えてください。

○委員長（永野 渉君） じゃあ、最初のやつ分からなかったら。総務係長。最初のやつ。数字的なことで問題あるんだたらしゃべらなくていいけれども、仮定のことについてお願いします。

○人事係長兼総務係長（佐藤 恵君） お答えいたします。

金額に係ることに関しましては、この場では差し控えさせていただきたいと思いますので、後ほど御説明させていただければと思います。

以上です。

○委員長（永野 渉君） よろしいですか。そのほか。須田さん、さっき手を上げていただけれども、やめたの、質問。いいんですか。

そのほか。13番 伊藤 司委員。

○伊藤 司委員 1点のみお聞きします。

99ページ、9款1項3目の14節工事請負費の防災行政無線の改修工事、これ結構な金額、3億6,500万円ですか、そこそこの改修だと思うんですけども、その中身をちょっと教えてください。

○委員長（永野 渉君） 1点ね。それでは、危機管理係長。

○課長補佐兼危機管理係長兼生活安全係長（庄司正博君） お答えいたします。

今年度、新しく防災行政無線のシステムのほうを構築しておりますが、令和7年度におきましては、屋外子局の受信機84か所分の受信盤を工事として改修する予定となっております。そちらのほうが主な工事の概要となっております。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 13番 伊藤委員。

○伊藤 司委員 行政防災無線、私の家もそうなんですが、大変聞きづらい。そういった場所が何か所か、私もそういったお話を聞くんですけども、当局のほうにはそういった話は来ていませんか。

また、今回の改修でそういった面の改修も含まれるのか、改修で解消できるのかどうか。その辺をお願いします。

○委員長（永野 渉君） じゃあ答弁、危機管理係長。

○課長補佐兼危機管理係長兼生活安全係長（庄司正博君） 防災無線が聞きづらいという箇所があるということは、事務局のほうにも連絡をいただいておりますし把握のほうはしております。

それで、今回の改修において、どうしても今の新築住宅ですと気密性が高くて、御自宅の中にいるとなかなか聞き取りづらい、屋外にいてもちょっと聞き取りづらいということがありましたので、今回、開発いたしました防災アプリのほうに文字情報といたしまして届くような形として改修させていただいておりますので、そちらのほうも御利用していただければと考えております。

以上です。

○委員長（永野 渉君） 13番 伊藤 司委員、3回目ね。

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

○伊藤 司委員 ちょっと報道記事で読んだんですけども、やはり本町のような行政防災無線のシステムで、ハウリングを起こして外にいてもわんわんわおんとかって聞き取れない、そういった同じような現象を起こしている地域に、最近、新しいシステムが導入されて相当聞き取りやすくなったという記事をちょっと目にしたことあるんですけども、そういった情報なんかは研究なされたんですか。

○委員長（永野 渉君） 当局答弁、じゃあ危機管理係長。

○課長補佐兼危機管理係長兼生活安全係長（庄司正博君） お答えいたします。

そういったハウリングを起こさないための今新しく高性能スピーカーというものが発売されておりますので、そういったところも含めて検討させていただいているところでございました。

以上です。

○委員長（永野 渉君） そのほか。6番 鈴木晴子委員。

○鈴木晴子委員 それでは、1点お伺いいたします。

先ほどから質疑なされております職場環境改善のほうの業務委託料のほうなんですけど、施政方針のほうの26ページに、職場環境ということで事業名として1,200万円、ここに金額が書いてあるんですけど、先ほどから御説明いただいている内容がこの金額そのままその委託内容になるのかどうかというところ、もっとこの職場環境改善にほかのものが入っているものなのか、お伺いさせていただきます。

それで、先ほどの御説明で秘書政策課のフロアをというふうに聞いたと思っているんですけど、秘書政策課の皆さんがフリーアドレスでその場で使うというものなのか、その場所をフリーアドレスにして秘書政策課はまた別なところに移動するのかという部分をお伺いしたいと思います。

以上です。

○委員長（永野 渉君） じゃあ当局答弁、総務課長。

○総務課長兼選挙管理委員会事務局長（和田あずみ君） では、お答えいたします。

事業費の内訳につきましては、委託料の絡みがございますのでここでは差し控えさせていただきます。

秘書政策課のフロアの改装の仕方なんですけれども、フリーアドレスにつきましては、それを視野に入れてそれを目指していくというようなところで、現状ではやはり機器類の関係で難しくありますので、まずは秘書政策課のフロアの中を多目的に使えるような柔軟性の高いレイアウトを取り入れて、何か効率性を上げるようなことができないか、ペーパーレス化を進める

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

必要もございますので、それに資するようなものも事業者からの提案などを募りながら進めていきたいと考えております。

その効果を検証いたしまして、行く行くはほかのフロアに広げていけるようにというような視野を持って検討しておりますので、現時点で、フリーアドレスでどうというのを今のところ具体的な構想としてこのようにしていきますということのまとまったものはございません。御承知ください。

以上です。

○委員長（永野 渉君） じゃあ、6番 鈴木晴子委員。

○鈴木晴子委員 施政方針に一部の執務室をフリーアドレスにと書いてありましたので、明確なものがあってこのように計上なされているのかなと考えていたところではあるんですけども、今の説明だと、秘書政策課の場所をそのような形に改善していきたいということだけは分かったんですが、先ほども聞きましたけれども、政策課の方がそこで仕事をするのか、別なところに机を用意して、そこは誰でも仕事できる場とするのかという部分。

あと令和4年の12月に、議会として、総務企画常任委員会として調査項目として、委員会の調査報告書として職員の皆さんの働き方改革ということで提案をさせていただいております。その中に、やはりこのような内容のものを提案させていただいているところでありましたから、その内容をぜひ反映していただけているのかなという部分でもお伺いしているところでは、そういう思いもありまして伺っているところではあります。

そのときに、議会として提案させていただいた内容としましては、議会から見て町民から見ても、働いている皆さんが一番困っているのではないかなと感じている部分が、昼食を取る場所だと思っております。特に窓口業務の方、お客様がいらっしゃっているにもかかわらず、御飯を食べて途中で止めて窓口業務しなければいけないような仕事の内容になっているのではないかと。まず、そこを改善していただきたいなと思いがあまして、それを提案しております。

それから、職員の皆様がコミュニケーションを取れる、先ほど提案の内容もコミュニケーションの場ということでありました。コミュニケーションの場をぜひ取っていただきたいという思いでありました。

そういうふうな部分からいきますと、秘書政策課の場所は適当なのかなと思う部分もあります。その辺お伺いしたいと思います。

○委員長（永野 渉君） じゃあ、総務課長。

○総務課長兼選挙管理委員会事務局長（和田あずみ君） お答えいたします。

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

まず、失礼いたしました。答弁不足しておりました。秘書政策課を改装して、その場で秘書政策課の職員が勤務するということを想定してございます。

あとはフリーアドレスというところが施政方針に記載してあるということですが、フリーアドレスに向けた改装ということで、即座にフリーアドレスが可能になる状況ではないということをご理解いただければと思います。行く行くはフリーアドレスも含め、もちろん実施できるように検討していきたいと考えております。

昼食の関係なんですけれども、現状といたしましては、特に窓口の町民課の職員にしましては、休憩時間をずらして会議室でもって昼食を取って、それで交代で対応しているような状況でございます。窓口の対応という点では、やはり昼休みも開けておりますので、今後も今の時点ではその方式を取っていく予定でございます。

また、こちらについては改善できる方法を今後も検討していきまして、現場の職員の声も聞きながら進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（永野 渉君） じゃあ、6番 鈴木晴子委員、3回目。

○鈴木晴子委員 金額、先ほどから答えられないということで、業務委託するものですからそうでしょうけれども、施政方針のほうには金額が出ているわけで、先ほど一番最初に聞いたんですけれども、内訳は全てを秘書政策課の事務室、執務室を変えるという金額に充てるものなのかということですね。

それで、その金額、そこで席として14席ぐらいあるのかなと、見た感じ、座席表を見るとです。単純に1人で割ると85万円ぐらいなんですけれども、この改装費を一般的に考えたときかなり高額な改装費になっておりまして、仙台市で庁舎の改修を考えているところでフリーアドレス制を導入してやっているところ、最初の導入当初は、100万人の都市ですけれども、30人の職員の分をやったということで、その30人分の職員を200万円の予算でやりましたというところがありました。これはある程度妥当な金額なのかなと私は感じているところであります。

その部分、町としてどのように捉えているのか。金額言えないということではありますが、ここに1,200万円と施政方針に載っているものですから、その辺の部分からも大体の金額的な部分として大分経費をかけて行うのではないのかなと思っております。

それから、先ほどお昼の部分は会議室で取っているというところ、そういうふうな部分も考慮しながら、計上された金額はしっかり検討、職員の皆様の職場全体の職場環境改善という形で考えるべきではないのかなと私は思うんですけれども、町の見解をお伺いします。

以上です。

○委員長（永野 渉君） じゃあ、総務課長。

○総務課長兼選挙管理委員会事務局長（和田あずみ君） お答えいたします。

事業費の1,200万円につきましては、事業費全体で1,200万円と御理解いただきたいと思いますが、この委託の内容に関しましては、重機の入替えだけではなく、企画提案、そして効果検証というところまで含めてのということになりますので、機器類を買って改装するというだけではないので、やはりそこは高額になろうかなと思いますが、提案方式を取りたいと考えておりますので、そういった点では経費を抑えていけるようにこちらも考えていきたいなと思います。

以上でございます。

○委員長（永野 渉君） それでは、そのほか質問ありませんか。じゃあ、最後、1番 郷右近委員。

○郷右近佑悟委員 すみません、じゃあ1点だけなんですけれども、37ページの2款1項6目の13節の使用料及び賃借料の中の生成A Iシステム使用料についてなんですけれども、この生成A Iシステムはどの部分で使うのかなというのを教えていただけますでしょうか。

○委員長（永野 渉君） デジタル係長。

○室長補佐兼デジタル推進係長（後藤俊寿君） お答えいたします。

こちらにつきましては、職員が業務上使用する生成A Iシステムということになります。こちらについては、システム会社とほかの自治体が協働開発した自治体専用の生成A Iとなっております。先ほどから申し上げますLGWAN、平均的な行政が使うネットワークの中だけで動かすようなシステムとなっております。

以上です。

○委員長（永野 渉君） じゃあ、1番 郷右近委員。

○郷右近佑悟委員 そうしますと、そのA Iが新しいシステムの中だけということなので、この金額で、例えば、実際によって生成A Iのホームページつくっていたりとかありますけれども、そういうほかの中じゃなくて、イントラというか、ある限定の中で使える生成A Iという認識で、ちょっと私の認識間違いないか、ちょっと確認させてください。

○委員長（永野 渉君） デジタル推進係長。

○室長補佐兼デジタル推進係長（後藤俊寿君） 委員さんお見込みのとおりでございます。通常の業務の範囲内で使用していくという形になります。

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

以上です。

○委員長（永野 渉君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（永野 渉君） それでは、質疑がありませんので、以上で総務部及び選挙管理委員会事務局の予算審査を終わります。

そのままで。

それでは、最終日に総括して質疑する事項の取りまとめ及び現地調査箇所の選定を行います。

質疑あるいは御意見ありませんか。1番 郷右近委員。

○郷右近佑悟委員 では、2点通告いたします。

1点目は、企画部所管の2款6項3目スポーツ振興費18節補助金のスポーツ流鏑馬推進事業についてです。事業の推進状況をさらに詳しくただしいことから通告いたします。

2点目は、総務部所管の2款1項1目一般管理費12節委託料の職場環境改善業務委託料についてです。委託の内容についてただしいことから通告します。

以上、町長に答弁を求めたいので質問いたします。

○委員長（永野 渉君） ただいま、1番 郷右近委員より2点の総括質疑の申入れがありました。

お諮りします。ただいまの件について、最終日の総括質疑とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（永野 渉君） 異議なしと認めます。

それでは、郷右近委員は先ほどの2点について明日の午前9時までに事務局に通告書を提出してください。

ほかに質疑あるいは御意見ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（永野 渉君） ないようですので、以上で本日の予算審査特別委員会を散会します。

なお、明日3月6日は午前9時半から特別委員会を再開しますので、御参集願います。

大変に御苦労さまでした。

午後3時37分 散 会

上記会議の経過は、事務局長川口 優が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するためここに署名する。

令和7年3月予算審査特別委員会会議録（3月5日水曜日分）

令和7年3月5日

臨時委員長

委員長